

859年

東部町文化協会だより

第1号

発行 東部町文化協会
印刷 印刷
印刷 印刷



発刊に寄せて

東部町文化協会長 小林 進

稔りの秋を迎えスポーツの季節と共に読書に絵画に音楽をはじめ、それぞれ、皆さま方は多忙の毎日をお過しのこと、ご推察申し上げます。

昨年文化協会発足十周年を記念して、会員名簿を発刊致しました。その節には町の各位より心あたたまる祝辞、そしてはげましのことばをいたゞきましたことは既に巻頭に掲載され、十年を節にしてより一層各分野共に意欲的な学習活動が展開され、今日に致った事を心より会員のみなさまに感謝を申し上げまする次第であります。

さてこの度、役員会の全総意によりまして「文化協会だより」を発刊するはこびとなりました。

求められている大事な「豊かな人間性」を養い高め、高令化社会の進む中でお互に、心のふれ合いを通し会員相互の研修を深め、生きがいのある毎日の生活であるべく、文化協会発足の目的に向かって皆さんで力を併せて、切差琢磨、努力をつづけたいものであります。文化協会だより発刊に当りまして予算と紙面の都合上一部会員のみのように思われますが順次紙面を通して、「ふれあい」の場所にして皆様方の計画や、お考えを、お聞する予定ですので、皆様方のご了承をお願い申し上げます。今後とも皆さま方のご協力を重ねてお願い申し上げますと共に、新しい会員のみなさまのご入会を一層

前途に輝く俳句への道

石井 補人

俳句は、日本特殊の風土に培われた日本人固有の短詩である。また、作家と作品とが密接に結びつく人格の文学でもある。

一方、個性を中心とした作品に違った傾向をもつ選者の存在がある。そこに流派が生まれ、作句に志す者は、そのいずれかの流派を選択すること、なるのである。東部町にも数々の流派がある。協会加盟は、「噴煙」と「増嶋」であるが、「石楠」「成田山奉灯句会」もある。外にも健吟の方々がたくさんあると思われる。

「噴煙」は、会員十六名で、月例会も一八〇回となり十五周年を迎える。記念行事として、句集第四号、その他が計画されている。例会には、各自二句ずつ投句し岡谷の先生の紙上指導を仰ぐ。

「増嶋」は、本部を稲荷山町に上小支部の会員は、十二名で内七名は東部町の人である。月刊誌には七句投句の規定がある。この結社への加入は昭和五十七年で、現在二名が同人となっている。



文化協会加盟団体の発表の一コマ



上回を重ね、今秋は差切峡。また句集第三号も計画されている。会員十四名で、俳句に生きがいを感じている人々である。「成田山俳句会」は、長久寺の成田山へ俳句を奉納する句会で、その投句は東京など遠くの人が多し。創始が大正十三年である。

心のふれあう手芸

小林 知美 与

手先を動かしていれば老化しないと言われますが、手芸はそれに一番役立ち、女性としての特技だと思います。

さつき会は、五十五・六・七年度に、サルビア会は昨年度、それ／＼教養講座を終えられた皆さんです。年令は二十代から、七十代までですが、歳の差など全く感じさせない仲間です。月に二回ずつの勉強会で、編物では基礎編からベスト・セーター・カーテナー・など、洋裁は、スカート・ワンピース・ブラウス・スラックス・を仕上げています。カプロン染めのカバン・バック・アンダリヤでバックを編み、ときには飾り物で空びんを利用して、いろ／＼な人形や、造花などで家族の皆さんにもよろこんで頂いています。

勉強会がすんだあとのお茶のみのたのしみの一つのようなのです。みんなが持ちよった手づくりの漬物、お菓子など、作り方を教わったり、野菜の上手な作り方などそれ／＼の持ち味の紹介をし合ったりで勉強の輪も広がっています。「夏は農業が忙しくて」と云う人も、「今朝五時起きして半日分働

いて来たんだわ」と云って出て来られます。

私も皆さんの熱意に押され、ますますよい指導者になれるよう努力したいと思えます。これから農閑期になりますので、エリマキトカゲなどつくつて皆さんとたのしみようと張切っております。

陶芸を続けて

山崎 良徳

昭和五十五年に教養講座の一つとして始まった陶芸教室は今年で五年目を迎え現在、心陶俱樂部十二名陶友クラブ四名・東陶会八名・五十九年度教室十一名で創作活動に励んでいます。月二回の実習はとて和やかに楽しく行はれ、湯呑・コーヒースェット・一輪生など小物から筒花入・壺など大物まで製作できる様になりました。

最初は信楽粘土だけで作っていたのですが三年位前から自分達で粘土採集を行いそれを混ぜて使うという、より高度な焼き物作りを目指し腕を磨いて来ました。

焼き物作りは性格がよく出るもので各グループや一人一人の個性がはつきりしていて今では大体誰の作品か分ります。

毎年秋に中央公民館で行なわれる総合文化展に出品して来ました



が今年心陶俱樂部が十月十八日二十一日に上田駅前の信金ギヤラリーで十月二十六日二十八日に中央公民館二階ロビーで俱樂部展を開きますのでどうぞ御高覧下さい。今後も他のクラブ展を開いて行く予定でいます。

幅が広く奥が深い陶芸をこれからも楽しみながら時には苦しみながら続けて行く事でしょう。

健康で明るい民踊部会

塚田 秋子

私達は民踊部会です。文化協会に入りまして十年になります。いつまでも若く美しく健康でありたいとの願いをこめて始めました。発足当時は十二グループぐらいでしたが、現在は二十二グループに増えました。

当初は一年間のお稽古の成果を皆さんに見て戴くよう老人福祉センターにて発表会をしました。その頃を思い出すと月二、三回のお

稽古で足の運び、腰の入れ方がなかなか思うように出来ず、ただ順序を間違えないとどう事だけで精一杯でしたが、中央公民館で五回目の発表会をいたしました。各グループの皆さんの熱心なお稽古の成果があらわれステージに相応しい踊りを披露する事が出来ました。今更のように十年間の歩みの重みを感じ／＼感じさせられる発表会でした。

発表会終了後反省会を開き今後の方針と計画や練習の苦勞話しや楽しいグループの人間関係などを話し合いました。

尚これからは敬老会、老人福祉大会、農協祭、鹿教湯リハビリセンターなどに慰門に行き少しでもお年寄りの皆さんをお慰めしたり、又自分達のお稽古の場としてもよい機会ですので、それ／＼のグループで積極的に計画されてはいかでしようか。

これからも一層民踊部会を盛り上げたいと思っておりますので、皆様方のご支援とお力添えをお願い致します。



語りかける盆栽

竹内 貞良

素晴らしい構想で活動されて居る先輩グループの様子などお聞きするにつけても、文化活動の何ものかは十分に理解出来なくも、美と情操の豊さに魅せられて仲間に入れて頂いて二ヶ年余が過ぎました宜しくお願ひします。

よく見かける鉢植えの木の多いこと、これ等を水をくれるだけでなくもう一步踏み込んでその木を持って居る個性を出し美しさを表現される様な管理が出来たら見栄も増すだろうにと思ひながら、鉢植えの仲間を糾合して盆栽協会が出来上りました。いよいよ仲間として話し合つて見て盆栽技術の奥行き

の深さに戸惑つて居るのが現状ですが、立派な盆栽を見るにつけ、お話を聞くにつけやれば出来そう

なる技術を何等かの方法でマスターして下さい。盆栽協会は未だ未熟ですが、一生懸命技術の向上に努力をしたいと考えて居ります。町単位、区単位の研究講習会を時期を見て開催を予定して居ります。会員以外の方々も精々御利用頂ければ幸と存じます。

誰れでも描ける絵画より

飯島 徳喜



東部町美術会は文化協内では一番古い存在だろうと思ひます。古いことが良いと云うわけではないけれども永く続いて居ると云うことは誇りに思つています。

油彩画及び水彩画等をやる同好者の集いでして毎月第二日曜日を日やすに集つて、静物及び人物風景画等。時に応じてモチーフを定め思い／＼の勉強をして居り、時には中央から名士を招いて講習会

何つたり、会員相互感想等を出し合つて研鑽向上につとめて居ります。参加希望者は誰彼なしに永く続けて絵の勉強の出来る方なら、何時でも、誰でも加入出来ることになつて居ります。この外に文化協会公募の初心者向けの指導に當つて居り、文化協会創立以来の指導には、私が當つて居りましたが、私の都合で、今年度からは寺島長虎先生の御足労を煩はして居ります。晩霞先生はその著「水彩画の描き方」の中で「文字の書き得る人に絵画の描けぬという事が無い、描けぬといふのは描かぬからである」と書いて居ります。絵画には、ス様しなれば不可ないと云つた定規はありません。自由です。そこに難しさが有るわけですが、描き度いナアと思つたら始めてみたら如何。

心開かぬ短歌よび

丸山 利江

小林一義・飯島守夫、両先生のものと、月例歌会を開いております。出詠歌の勉強の他、両先生より歌人や歌壇のお話をお聞きすることも大変参考になります。

即詠といかないまでも、作歌の糧とすべく見聞を広めてゆきたいものです。厳しくとも皆、人格円満、短歌を習いたい方はぜひどうぞ！青葉の会矢島米人先生御指導今年の成果、計画は多彩です。歌集「青葉」第三集発刊。新年歌会小諸年金センター。峯墨会との合同作品展。宮原正愛先生と雲溪荘にて研修。田代高原吟行会。磯部温泉吟行会一泊。予定歌集「青葉」第四集発刊。予定自然の美しさ又生活の中より。短歌を通じて会員一同澆刺とした素晴らしい作品を夢見ています。関義豊記 名称 東詠会 関貴代子 短歌愛好者のつどい。同好者十三名のささやかな会。はじめて五年ほんに出発したばかりです。月一回各自の作品二首持参批評鑑賞会を行っています。作品はまだまだ稚拙なものばかりですが批評いただいて種々心うたれることが多く中老の身を洗はれる思いがして例会日がたのしみです。小さい集団ですがいつまでもつづけて行きたいと張りきっています。

茶道について

寺島 郁代

人世の歩みの中に動と静があり又有と無があります。私達が文化を取りいれ生活の中に潤いを持つと云う事は遠い昔から始まっておりました。この頃東京で茶祖村田珠光の書を見たり又、私の師事する表千家の祖利久の所持品等見る機会を得まして文化の花は遠い遠い数百年の昔から開いておつたのを感じました。只その時の限られた人達つまり時の権威者が富のある人に多かつた事は否定できません。盛者弱者入れ替り立ち替り現在にいたり只今は、好める者は自由に望み得る世になりました。この機会にどう進んでいくかは私達に課せられた道であり後につく世代への道しるべと思えます私

達はよき東部町の文化のため与えられた努めを果しましょう。

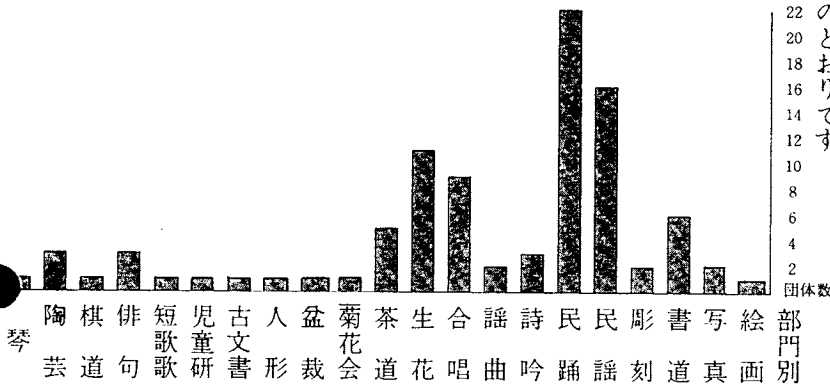
私のやっているお茶は無であり静であり形として後にのこらずに又はげしい動きはありません。只自分の心の中に一点をみつめて前進し無であり静であつてもとまつておりません。人の心の動きは不思議なものでお茶の仲間にはいつて来られるといつか仲間と一体になって歩いていられるのです。新しいものが次から次と生れてくる只今の社会の中に心のゆとりを求めるのが人の心でありましよう さき頃私の仲間が県の代表としてオーストリーのウィーンに行つて来ました言葉も通じなくてもお茶をたて、結構和やかな気分を味つて来た様です。私達もいつまでも町の文化の発展につくしてまいります。

お知らせ

- ◎陶芸展 十月二六日～二八日
- ◎総合作品展(作品展・菊花展・盆栽展) 十一月三日～五日
- ◎合唱祭 六〇年二月の予定
- ◎民謡発表会 三月三日の "
- ◎民謡発表会 三月十日の "
- (会場東部町中央公民館)

文化協会加入団体一覽表

自主的な文化活動を通して豊かな人間性を養ない会員相互の研修を深めるとともに生きがいのある生活への指向と、町民文化の向上に寄与することを目的に多くの団体が加入して活動しています。現在加入いただいている団体数は次のとおりです。



三味線
ジャズ
手芸

五月に行なわれた文化協会総会後新たに加入いただいた団体は、手芸サルビア会12名・海善寺民謡教室10名・あすなろ会5名・本海野千倫会10名で現在までの文化協会への加入団体数も一〇一にのぼり会員数も一七〇四名に達し、部門ごとに発表会や学習活動が続けられています。

編集後記

秋も深まる今日この頃ですがお元気で文化活動に精進されておられること、お喜び申し上げます。馴れない編集で見苦しい点多々ございましょうが念願の第一号をお届けすることができてホットしているところです。

すべての部会の原稿が掲載できず次回に廻していただいた各位にはお許しを願って第二号の発行には新鮮な内容で更に充実したものにしたいと編集委員一同張切っておりますので何分共御理解と御協力を心からお願いたします。

部会、クラブの行事がございましたら事務局まで早目に御連絡下さい。(真岸記)